

# 来週の『売り物記事』はこれ



2016年12月22日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 岸田則子 日本女子ラグビーの礎

25日(日)



アイルランドなどで来年8月、女子15人制ラグビーのワールドカップ(W杯)が開かれます。アジア・オセアニア地区予選が今月13～17日に香港であり、日本は1位で通過して4大会ぶり4度目のW杯出場を決めました。その日本女子ラグビーの礎を築いたのが、3月に日本ラグビー協会女子委員会の委員長を退任した岸田則子



さん(70)たち先駆者です。主婦だった岸田さんは1983年に競技を始め、仲間とともに女性だけのチーム「世田谷レディース」を結成。さらに全国大会を開こうと、日本女子ラグビー連盟を設立しました。接触プレーが多いラグビーは「男のスポーツ」。女性はマネージャーになるか、試合観戦を楽しむもの。そんな固定観念とも戦い、選手として第1回W杯にも出場しました。70歳となった今もフィールドに立ち、「ラグビーは見るものじゃない。やるもの」と言う岸田さんの熱い思いと、「岸田さんの背中を見てきた」という現役選手らの交流を描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

## 相模原障害者施設殺傷事件

厚生労働省検討チームのメンバーに聞く

医療・福祉面 25日(日)



46人が死傷した相模原市の障害者施設殺傷事件の再発を防ぐにはどうすればいいのか。今月8日、厚生労働省の検討チームは、措置入院制度の改革や退院後の支援強化を柱にした最終報告書をまとめました。検討チームのメンバー3人にインタビューし、報告書の狙いや、今後の課題について聞きました。

日韓合意から1年「慰安婦問題」とは何だったのか。

和田春樹・元アジア女性基金専務理事に聞く

オピニオン面 【そこが聞きたい】 28日(水)

慰安婦問題を巡る日韓両政府による合意から28日で1年を迎えます。「最終的かつ不可逆的な解決」をうたった歴史的合意でしたが、韓国側でそれを主導した朴槿恵(パク・クネ)大統領が弾劾訴追されたことで、韓国の動向には不透明感も漂います。そもそも慰安婦問題とは何だったのか。アジア女性基金の専務理事を務めた歴史学者、和田春樹氏=写真=に聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

## オスプレイ大破でも飛行再開

# 日本は米国の言いなりか

夕刊特集ワイド 26日(月)



沖縄は、この国は、いまだにアメリカの植民地なのか——。怒りがこみ上げるような展開です。名護市沿岸で、米軍輸送機オスプレイが大破した事故。在日米軍トップは住民らに被害が出なかったことをもって「感謝されるべきだ」と発言。しかも事故からわずか6日後にオスプレイの飛行を再開しましたが、日本政府は「容認」の姿勢です。「沖縄の痛み」はまたも無視されてしまうのでしょうか。大田昌秀・元沖縄県知事らに聞きました。

## 日本人のカラダ

くらしナビA面 1月1日(日)から

健康をめぐる日本人の置かれた状況を報告する連載「健康狂騒曲」をくらしナビ面でスタートします。序章は「日本人のカラダ」。人間の体に変化が起きていると認識している人は多くないと思いますが、実は足の大きさ、腸、味覚といったところで、昔とは違ってきているものがあります。「なぜ変わったのか」「体への影響は」。一つずつ探っていきます。



## どうする魚離れ

くらしナビA面 31日(土)



魚離れが止まりません。原因は、価格の高さや「魚より肉」という好みの変化のほか、調理のしづらさも挙げられます。栄養価が高く、和食文化に欠かせない魚が、再び食卓の主役に戻る日は来るのでしょうか。料理研究家の田口成子さんは中学校の出前授業で「生き物が食べ物になる過程をお見せします」と生徒に語りかけ、関心を持ってもらえるよう努めています。

## 自転車でGO!

くらしナビB面 27日(火)

議員立法の「自転車活用推進法」が今月、衆参両院で全会一致で可決成立しました。社会的な交通手段としての自転車の役割拡大に向け、国に計画作成を義務づける法律です。安全に配慮しながら自転車の活用を進めてクルマ依存を減らすことが、国民の健康や交通混雑の緩和につながると明記されています。重点施策14項目を紹介し、課題は何かを考えます。



## 女の気持ちをたずねて



おんなのしんぶん 26日(月)



運動が苦手だったという山口県下関市の岡田小百合さん(51)は中学時代、持久走大会は最下位でゴールしていました。中2の時、体育の成績が5段階評価の4になりました。表記ミスと思って教師に尋ねると、「どんなに苦手でも休まず、誰よりも先に準備体操していたから」と説明されました。その言葉に生かされたという岡田さんの今の姿を伝えます。

## 医学教育の新しい動き

医療福祉面 28日(水)

来年4月、首都圏では43年ぶりとなる医学部が国際医療福祉大に新設される。「国際性」を打ち出し、留学生の受け入れや英語教育の充実を特色としている。また聖路加国際大は専門職公衆衛生大学院を開設する。米国型の教育、研究システムが特徴だ。医療と工学を総合的に研究する「医工連携」を推進する京都大大学院の取り組みなど、医学教育の新しい動きを取材した。



# 2016年重大ニュース

特集面 31日(日)



2016年もさまざまなニュースが世界を駆け巡りました。米大統領選では共和党の実業家ドナルド・トランプ氏が事前の予想を覆して民主党のヒラリー・クリントン前国務長官に勝利しました。国内でも天皇陛下が高齢を理由に退位の意向がにじむおことばを公表され、政府内で議論を進めています。人々の生活、社会に影響を与えた今年の重大ニュースをまとめます。

次週の『来週の「売り物記事」はこれ』はお休みします。